

2021年1月22日

各 位

会 社 名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 代表者名 代表取締役会長兼社長 中村 豊
 (コード: 4929 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理本部本部長 中川 秀男
 (TEL 078-351-3136)

2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月23日に公表した2021年3月期(2020年3月21日~2021年3月20日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年3月21日~2021年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年10月23日発表)	百万円 5,903	百万円 601	百万円 614	百万円 338	円 銭 42.45
今回修正予想(B)	4,914	208	232	102	12.85
増減額(B-A)	△988	△392	△382	△236	—
増減率(%)	△16.8	△65.3	△62.2	△69.7	—
(ご参考)前期実績値 (2020年3月期)	4,674	△184	△157	△227	△28.63

2. 修正の理由

売上高につきましては、コロナ禍において、営業部員のサロンフォロー不足及び新商品である「KASUI(カスイ)」のサロン告知が遅れた影響で、スキンケア及びヘアケアともに、計画水準に届かないまま第3四半期を推移いたしました。第4四半期については、新商品である「KASUI(カスイ)」は、増加基調を見込んでおりますが、既存商品については、引き続き、同様の水準で推移する見通しであるため、前回修正予想を下回る見込みであります。

費用につきましては、人員計画と在籍人員との差異による人件費の減少、販売促進費や旅費交通費などの販売活動費用の減少を見込んでおります。

以上により、売上高の減少に伴う売上総利益の減少額が費用の減少額を上回る見込みであることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益が前回修正予想を下回る見込みであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化し、新たに通期連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上